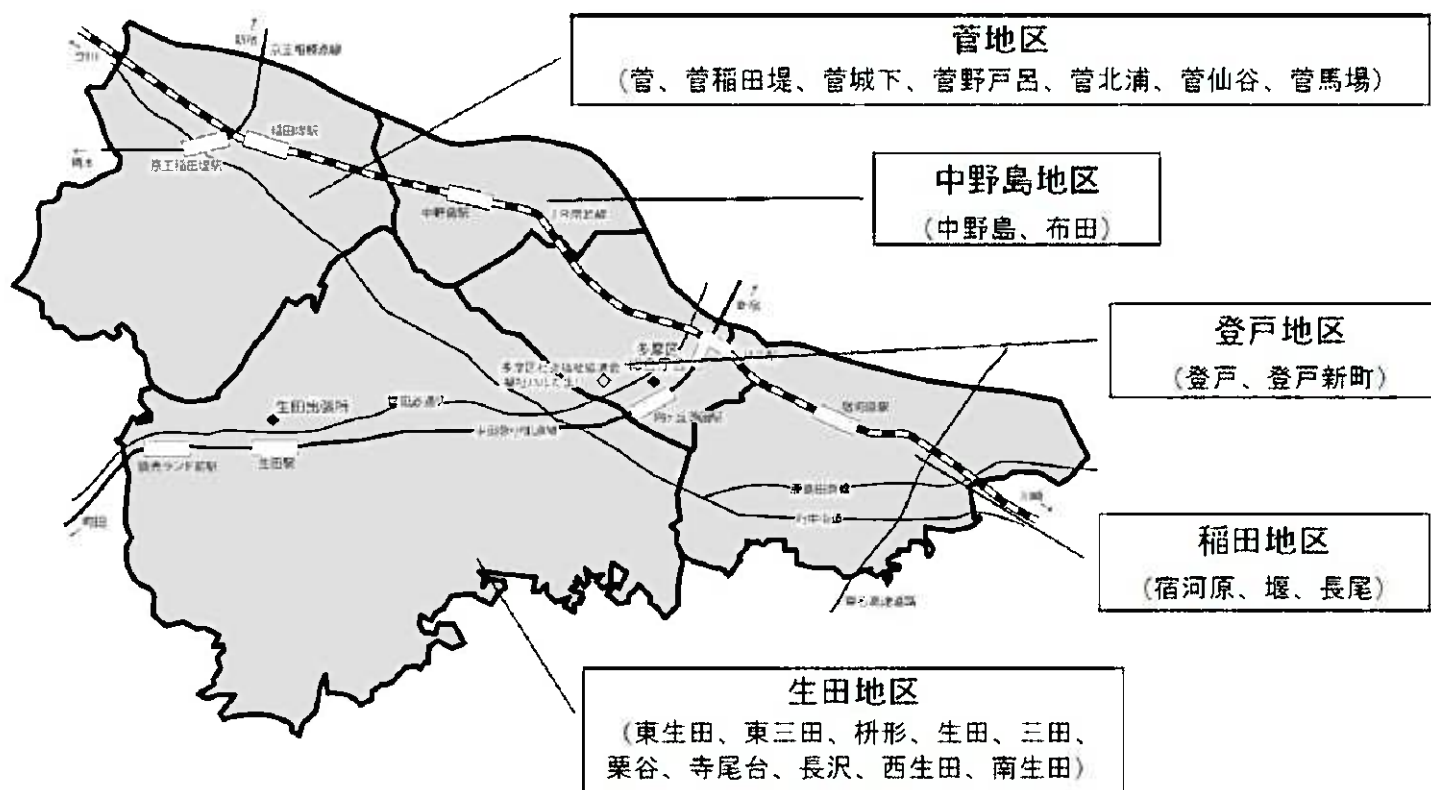




地域包括ケアシステム推進のための
多摩区内5地区の取組について

多摩区の地域づくり

多摩区では、地区社協の区割りを参考に
5地区で「地域づくり」を進めています。



登戸地区の地域づくり

H30年度

キーパーソンヒアリング



地域で活動している団体は多いが、お互いの活動を知らない。活動を広げにくい。

R2年度

参加団体アンケートを実施

- ・活動が中止し、住民の状況がつかめない
- ・団体同士で協力できることがあるのでは？
- ・気軽な立ち話等交流ができるようなまちになってほしい！

H30年度、R1年度

のぼりとミーティング(団体交流会)開催

団体活動紹介



出席された19団体の活動紹介をしました。

休憩・交流



休憩・交流では情報交換や交流を深める有意義な機会になりました。

基調講演



ルーテル学院大学大学院名誉教授和田敏明先生にご講演いただきました。

参加団体の活動情報を載せた「活動紹介ハンドブック」を区ホームページに掲載しました！



登戸地区の地域づくり

R3年度

■のぼりとミーティングの継続

地域のつながりの中で課題解決していけるように、様々な主体を繋ぐ機会として団体交流会「のぼりとミーティング」を継続していく。

【実施内容】

- ・のぼりとコアミーティングの実施(5/26済)
- ・のぼりとミーティングの実施
- ・新規参加団体への声掛け



R元年度ののぼりとミーティング
開催レポート



のぼりとコアミーティングの様子

■居場所づくりの支援

地域の公共スペースを有効活用したいというニーズと身近な居場所が欲しいというニーズが結びつき、地区内に地域カフェが立ち上がっている。住民主体の活動をさらに広げるために、先行事例のノウハウなど情報や団体をつなげる役割を果たし、住民の具体的な行動を支援する。

【実施内容】

登戸地区で活動している3つの地域カフェは全て活動休止中のため、定期的に現況確認し、活動を再開する際の相談支援を行う。

<3つの地域カフェ>

- ・グランドカフェ
- ・カフェ花みずき
- ・Caféしもがわら



カフェ花みずきの様子

菅地区の地域づくり

◇地域の情報収集・活動の支援

・菅町会プロジェクトチーム

地ケアの取組を町会で進めていきたいが、何をしたらよいのか。
災害対策を充実させたい。→「菅の防災力」作成。(R2年度)

・ふじのき台団地共助委員会

団地内の見守りの仕組づくりを検討中。コミュニティカフェの
立ち上げを計画。(R2年度ヒアリングより)



◇地域包括支援センターとの連携

・菅の里

高齢者の多い集合住宅で介護予防教室を開催。
定期的に担当者会議で、情報共有。(H30年度～)

・花ハウス

花ハウス新聞を発行、転倒防止教室を開催。
ヒアリングを通じて、情報共有。(R2年度)

地域団体や包括と連携して、高齢化率の高い集合住宅や地域を対象に認知症予防講座を開催するなど、介護予防の取組を効果的に実施しています。



菅地区の地域づくり

R3年度

■集合住宅への働きかけ

高齢化率が高く町会組織との関わりが薄い、集合住宅の住民を対象として、自助・互助の意識向上に向けた取組を進める。ヒアリングを通じて、住民の状況や関心によって、住宅内で課題を考えるきっかけづくりや、参考となる活動の紹介を実施。

【実施内容】

・菅地区で一番高齢化率(65歳以上42%)が高い(特定養護老人ホームのみの菅仙谷4丁目除く)菅北浦地区にある「サンビームヒルズ西菅第2期」集合住宅に働きかけを行う。



「サンビームヒルズ西菅第2期」
集合住宅

■地域包括支援センターとの連携

地域と密接に関わる地域包括支援センターと情報共有し、連携して地域づくりの取組を進める。

【実施内容】

- ・各地域包括支援センターとの情報交換会
- ・身近な地域での交流の場の検討
(菅の里地域包括支援センター中庭の活用など)



菅の里地域包括支援センターの中庭

■町会との継続的な関わり

町会ヒアリングのフォロー、キーパーソンヒアリング等を通じて町会との関係をつくりながら地域の実態調査を継続していく。菅町会内で立ち上がった10年先を考えるプロジェクトチームとの関わりを通じて地域課題を共有し、連携した取組を検討していく。

中野島地区の地域づくり

中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会



協議会の構成

- ・町会
- ・民生委員児童委員とそのOB
- ・学校
- ・保育園
- ・地区社協
- ・高齢者関係団体
- ・市民活動団体

H28年度～ 多世代交流の場づくり

○まちプロ中野島

「まち・人・くらしプロモーター」研修終了後、多世代交流の場を企画・運営し活躍。

◆中野島ファミリーカフェ

月2回開催。⇒現在はオンラインで実施中。講座・イベント、交流タイムを実施し多世代交流。

◆ポールdeウォーク

月2回、多摩川周辺で活動。
年2回、保育園園児との交流も実施。

R2年度

協議会員アンケート&ヒアリング

- ・協議会を通じて地域の方と知り合うことができた。
- ・もっと気軽に連絡を取り合える手段があると良い。
- ・日頃の活動の中で団体同士が連携していきたい。
- ・困った時に声をかけあえるようにネットワークを強化したい。



あいさつで つながる心 咲く笑顔

中野島地区の地域づくり

R3年度

■中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の継続

東京都健康長寿医療センター研究所(平成30年協定終了)とともに、中野島地区を地域包括ケアシステムのモデルとして、地域資源及び住民ニーズを調査・把握し、多様な主体と連携した有効な体制・手法を検討実施してきた本協議会を継続していく。協議会を中心に交流を深めて地域でつながり、多世代が支え合う地域づくりを目指す。

【実施内容】

- ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会コアミーティングの実施(5/24済)
- ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の実施
- ・新規団体へのヒアリング



中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会コアミーティング



あいさつで つながる心 咲く笑顔

稲田地区の地域づくり

◇長尾地域の状況

- ・長尾6丁目の高齢化率:32%
後期高齢者の割合:21%
- ・坂道が多く、商店が少ない。
- ・住民同士が集える場が少ない。



◇住民アンケートの実施(H30年度)

- ・対象:長尾台住宅自治会内の住民
 - ・回答率:約7割
- 回答から、9割以上の住民が交流の必要性を感じていることがわかった。

◇長尾地域への働きかけ(H30年度)

- ・認知症予防講座の開催
- ・認知症サポーター養成講座
- ・健脚のための運動講座



◇住民主体の活動

- ・コミュニティバス
- ・自治会主催の集い
- ・あじさいカフェ
- ・カフェながお



◇その後の展開(R1年度・R2年度)

- 高齢者以外の住民への働きかけを検討
 - 子育て世代のニーズを調査
(子育てヘルパー、一時保育の状況確認等)
 - 子育てに関わるキーパーソン
ヒアリングを実施
 - 住民アンケート結果を再分析

稲田地区の地域づくり

R3年度

■3地域の特徴に応じた地域づくり

3地域で特性が異なるためそれぞれの地域ごとに分析を実施。3地域を同時に進めることは難しいため、優先度を検討し、令和3年度は堰地域と宿河原地域の取組を並行して進める。

【堰地区】

<現状>

把握している地域情報が少ないため、様々な分野の地域団体から情報収集を進める。

<実施内容>

・地域支援に力を入れている団体や民生委員等にヒアリング実施

※ヒアリング想定団体

「ひらけごま」、「ひばりっこくらぶ保育園」「商栄会コミュニティクラブ」を想定。

・堰町会との繋がりを継続するために定期的にヒアリングを実施。

※防災分野に限定せず、町内会で議題になっている事柄について広くお話を伺う。

【宿河原地区】

<現状>

子どもが多い地域のため、子育て世帯の地域情報を収集・分析し、住民のニーズや意向を把握して地域の実情に沿った取組を検討していく。

<実施内容>

・「子育てサロン いちにのさん！」を活用した多世代交流の場の検討

※スタッフ不足という課題に対して、シニア層にスタッフ参加してもらうことで課題解決するとともに、多世代交流の場として発展を目指す。

生田地区の地域づくり

平成30年度～令和2年度

生田ご近所 パワーアップ集会

- ・3つの民協の区域ごとに、住民に地域の活動紹介の機会を設けました。
- ・地域実態を把握するため、町内会・自治会の会長に、ヒアリングも実施しました。
(実施件数:32件)



平成30年度

12月1日(土)開催
生田第2民協対象
日本女子大と連携し、
8団体の事例紹介や
参加者同士の意見
交換を行いました。



令和元年度(平成31年度)

11月23日(土)開催
生田東民協対象
専修大と連携し、
5団体の事例紹介や
パネルディスカッション
を実施しました。



令和2年度

生田中央民協対象
新型コロナウイルス防止のため、
集会形式では実施せず、
地域活動を紹介し、自助・
互助の活動を促すための
広報誌を令和3年3月に
作成しました。



生田地区の地域づくり

R3年度

■ 3つの民協エリアの特徴に応じた地域づくり

【生田東民協エリア】

東生田地域を中心とした坂上の閉じこもりがちな高齢者への働きかけを検討。東生田町会連絡協議会(23町会で構成)等にヒアリングし、情報収集を行う。

【生田中央民協エリア】

生田4～6丁目の坂が多く高齢化率の高い地域を対象に、高齢者関係部署や地域のキーパーソンから情報を収集し、ヒアリングを通じて働きかけを行う。

【生田第2民協エリア】

エリア全域で坂が多く高齢者も多いため、関係部署から詳細な地域情報を収集し、分析を進めて、小地域での取組を進める対象地域を選定していく。

■ 生田出張所を活用した取組

生田出張所新庁舎オープニングイベントにて「コロナ禍でのつながりづくり～”できない”から”できる”へ～」講演会を開催(7/18)。

コロナ禍により様々な集まりが中止し、地域で集まることが難しくなっている中で、「新たな 手法」によるつながりづくりのきっかけとすることを目的に。



生田出張所新庁舎

■ 生田地区町会連合会との取組の共有

生田地区町会連合会の会議などの機会を活用して、これまでの町会ヒアリングの結果や地区の取組を報告する。